

【別紙5 電子カルテ関連システム (2) 自科検査システム機能一覧】

項目	大分類	中分類	小分類	要求仕様
1-1-1-1	共通	動作環境	ハードウェア	電子カルテ端末のCPU交換やメモリ増設を行うことなく、快適に動作すること。
1-1-1-2	共通	動作環境	ハードウェア	マルチディスプレイに対応していること。
1-1-1-3	共通	動作環境	ハードウェア	ストレージは二重化することができること。
1-1-2-1	共通	動作環境	ソフトウェア	サーバ環境はWindows Server 2022以上のOS上で構築可能であること。
1-1-2-2	共通	動作環境	ソフトウェア	電子カルテ端末と相乗り環境で動作すること。
1-1-3-1	共通	動作環境	性能	クライアント・サーバシステムで動作し、500台以上のクライアントでの運用が可能であること。
1-1-3-2	共通	動作環境	性能	画像データ量が蓄積された場合でも同時利用台数やネットワークの仕組みに変化がない場合は、システムの動作速度に大きな低下を起こさない仕組みを実装していること。
1-1-4-1	共通	動作環境	セキュリティ	利用者ごと、もしくは職種ごとに画面の実行権限、参照権限、更新権限を設定することができること。
1-1-4-2	共通	動作環境	セキュリティ	ユーザのパスワードは暗号化を行うこと。
2-1-1-1	基本機能	共通機能	共通	外来、病棟に設置してある静止画、動画を出力する検査機器の結果を管理できること。
2-1-1-2	基本機能	共通機能	共通	電子カルテ端末にて液晶タブレットを利用する場合には、タブレット上でのペンによるクリックでマウス操作と同様の操作ができること。
2-1-1-3	基本機能	共通機能	共通	各機能画面の呼び出しは、利用者が直感的にできるものであり、また、有機的な連携ができること。
2-2-1-1	基本機能	検査結果の取り込み	画像	S-VIDEO信号もしくはコンボジット信号で信号出力する検査機器から、画面にキャプチャーにより静止画および動画を取り込むことができること。
2-2-1-2	基本機能	検査結果の取り込み	画像	画面キャプチャーにより静止画および動画を取り込む際は、キーボード・マウス・フットスイッチ・手元スイッチ等で行えること。
2-2-1-3	基本機能	検査結果の取り込み	画像	動画の取り込み時間を指定でき、指定時間経過後、録画を自動的に停止できること。
2-2-1-4	基本機能	検査結果の取り込み	画像	取り込んだ静止画・動画に関連付けて、画像種別・取り込み実施者・日時の画像付加情報を自動的に付与できること。
2-2-1-5	基本機能	検査結果の取り込み	画像	USB経由でデータ連携するデジタルカメラ接続機器から静止画及び動画が取り込めること。
2-2-1-6	基本機能	検査結果の取り込み	画像	PNG形式・BMP形式・JPEG形式の画像を取り込みできること。
2-2-1-7	基本機能	検査結果の取り込み	画像	PDFの画像を取り込みできること。
2-2-1-8	基本機能	検査結果の取り込み	画像	AVI形式、MP4の動画を取り込みできること。
2-2-1-9	基本機能	検査結果の取り込み	画像	DICOM対応の検査機器からDICOM画像、マルチフレームを取り込めること。
2-2-1-10	基本機能	検査結果の取り込み	画像	画像を取り込む際、取り込んだ画像に”キー画像”などの識別のためのフラグ(付箋機能)を設定できること。
2-2-2-1	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	中央検査室以外に設置してある分析装置とオンライン接続で結果を取り込めること。
2-2-2-2	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	検査オーダーなしで結果を取り込み、電子カルテへ結果情報を送信できること。
2-2-2-3	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	分析装置からの測定結果に患者IDが付いてくる場合は、その患者の結果として取り込みができること。
2-2-2-4	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	分析装置からの測定結果に患者IDが無い場合は、測定結果を確認する画面で患者IDの入力ができること。
2-2-2-5	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	分析装置からの測定結果に患者IDが無い場合は、測定結果を確認する画面で患者ID入力時に、患者氏名など属性情報を画面に表示できること。
2-2-2-6	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	測定結果を確認する画面で測定結果の確認と修正ができること。
2-2-2-7	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	測定結果を確認する画面で分析装置からのサンプル番号を表示すること。
2-2-2-8	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	測定結果を確認する画面で未確定結果の一覧表示ができること。
2-2-2-9	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	分析装置とのオンライン接続はRS-232C、またはLANにより接続できること。
2-2-2-10	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	電子カルテの検歴画面での表示は、中央検査室で測定した結果と同じ検査項目として扱えること。また、設定により、別の検査項目としても扱えること。
2-2-2-11	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	測定結果を確認する画面は電子カルテ端末で動作すること。
2-2-2-12	基本機能	検査結果の取り込み	血液分析結果	測定結果の登録時に自動的に会計連携ができること。
2-3-1-1	基本機能	データ編集	シェーマ機能	患者説明時に説明内容を判り易くするために、画像に対して加筆修正が可能であること。
2-3-1-2	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正にてUNDOができること。
2-3-1-3	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正は、キーボード・マウスの他、ペンタブレットデバイスからの入力を有効に利用可能な仕組みを持つこと(筆圧感知・スムーズなペンの軌跡を再現できること)。
2-3-1-4	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正時に、患者説明に使う文言が文字テンプレートとして診療科毎および利用者毎に登録でき、簡単な操作でその文言を利用できること。
2-3-1-5	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正は、矩形・円の描画、自由線・直線の描画、テキスト入力ができること。
2-3-1-6	基本機能	データ編集	シェーマ機能	シェーマで、患部のスプレーマークやスタンプなどの入力ができること。
2-3-1-7	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正した内容は、オリジナル画像とは別に保存できること。
2-3-1-8	基本機能	データ編集	シェーマ機能	加筆修正した画像を再修正できること。
2-3-2-1	基本機能	データ編集	数値編集	取り込んだ検査の数値結果を編集できること。
2-4-1-1	基本機能	検査結果参照機能	自科検査一覧	取り込んだ患者単位の検査結果を一覧形式でサムネイル表示できること。
2-4-1-2	基本機能	検査結果参照機能	自科検査一覧	自科検査一覧は、患者を指定して起動ができること。
2-4-1-3	基本機能	検査結果参照機能	自科検査一覧	検索条件は検査日、コメントおよびキー画像で検索できること。

2-4-1-4	基本機能	検査結果参照機能	自科検査一覧	自科検査一覧は、検査種別、診療科で絞り込みができること。
2-4-1-5	基本機能	検査結果参照機能	自科検査一覧	自科検査一覧の表示項目として、検査日、検査種別、サムネイル、登録者、診療科、画像枚数、シェーマ枚数、コメントを表示できること。
2-4-2-1	基本機能	検査結果参照機能	検査結果表示	取り込みをおこなった検査の数値結果が、電子カルテの検歴ライブラリで時系列・グラフ化をもって表示できること。
2-4-2-2	基本機能	検査結果参照機能	検査結果表示	オリジナル画像と加筆修正した画像はそれぞれ別画像として表示できること。
2-4-2-3	基本機能	検査結果参照機能	検査結果表示	検査結果を時系列に表示することができる。
2-4-2-4	基本機能	検査結果参照機能	検査結果表示	取り込まれた動画の停止・再生機能を有すること。
2-5-1-1	基本機能	データ出力	画像データ出力	登録済みの画像を指定フォルダにエクスポートできること。
2-5-2-1	基本機能	データ出力	画像印刷	保存した画像の印刷が行えること。 印刷レイアウト上に検査日時、診療科、患者IDなどの情報を印字出来ること。
2-6-1-1	基本機能	レポート機能	レポート作成機能	登録済みの画像に対して、レポートを作成することができること。
2-6-1-2	基本機能	レポート機能	レポート作成機能	画像を表示している画面から直接レポート作成ツールを起動できること。
2-7-1-1	基本機能	会計	会計連携	画像の取り込みを実施した場合、画像種別に応じた会計を自動発生できること。
3-1-1-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（サーバ）連携	患者属性連携	電子カルテ／医事システムと患者属性を共有すること。
3-1-1-2	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（サーバ）連携	患者属性連携	電子カルテの受診予定者の一覧および受付の最新の情報を取得できること。
3-1-2-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（サーバ）連携	利用者情報連携	電子カルテと利用者情報を共有すること。
3-1-3-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（サーバ）連携	結果の通知	検査結果を電子カルテに登録（通知）できること。
3-2-1-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（クライアント）連携	起動連携	電子カルテから起動できること。
3-2-2-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（クライアント）連携	結果の参照	電子カルテから検査結果を参照できること。
3-2-2-2	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（クライアント）連携	結果の参照	検査結果の削除および修正を行った場合、電子カルテシステムに対しても削除・更新が連動して行われること。
3-2-2-3	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ（クライアント）連携	結果の参照	取り込んだ静止画像や検査結果（数値データ）を電子カルテに貼り付けできること。
3-2-3-1	電子カルテおよび他システム連携機能	電子カルテ他システム連携	統合ビュー連携	自科検査システムで取り込んだ画像のサムネイルが統合ビュー画面から参照可能であること。統合ビュー画面から自科検査システムの参照画面を起動可能であること。
4-1-1-1	各種支援機能	運用支援	ユーザ管理	診療科毎に管理者権限ユーザを登録できること。
4-1-1-2	各種支援機能	運用支援	ユーザ管理	管理者権限ユーザの権限で、利用者権限ユーザの登録が行えること。
4-1-2-1	各種支援機能	運用支援	データ管理	異なる患者にマッチングした検査結果（画像、数値）を正しく修正できること。
4-1-2-2	各種支援機能	運用支援	データ管理	画像削除時、画像および画像付加情報は物理的に削除されず論理的な削除を行うのみとし、必要に応じて内容を参照できること。
4-1-3-1	各種支援機能	運用支援	運用管理	DICOM対応の検査装置からAccessionNoがない画像を受信した場合は登録を保留し、手動で該当する患者の検査として登録できること。
4-1-3-2	各種支援機能	運用支援	運用管理	データベースの情報および画像情報は、電子カルテのバックアップ領域にバックアップされること。
4-1-4-1	各種支援機能	運用支援	マスタ管理	検査種別マスタがメンテナンスできること。
4-2-1-1	各種支援機能	監査証跡	操作履歴	検査結果の取込み操作の履歴を管理できること。
4-2-1-2	各種支援機能	監査証跡	操作履歴	検査結果の修正・削除の履歴を管理できること。
4-2-1-3	各種支援機能	監査証跡	操作履歴	検査結果を参照した履歴を管理できること。